

## 【保育所版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果表

評価実施基準日	平成 23 年 12 月 17 日
評価確定公表日	平成 24 年 1 月 30 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

### ◆ 評価を実施した機関

名称	( 特定非営利活動法人 ) 秋田県福祉施設士会
所在地	( 〒 018 - 3454 ) 北秋田市脇神字高村岱281-4
TEL	( 0186 ) 60 - 1071
FAX	( 0186 ) 60 - 1071
E-mail	murakou-0101@w4.dion.ne.jp
ホームページURL	

### ◆ 評価を受審した事業者

法人名称	( 社会福祉法人 ) グリーンローズ
法人所在地	( 〒 010 - 1638 ) 秋田市新屋表町18-19
TEL	( 018 ) 828 - 3049
FAX	( 018 ) 828 - 3061
法人代表者	後藤 進
事業所名	グリーンローズ <sup>ホイクエン</sup> 保育園
サービス種別	保育所
管理者名	加藤加奈子
開設年月日	平成 11 年 4 月 1 日 定員数 50 名
TEL	( 018 ) 828 - 3049
FAX	( 018 ) 828 - 3061
E-mail	luther@kodomo-sekai.com
ホームページURL	kodomo-sekai.com

### ◆ 評価の総評 (優れている点、改善を求められる点)

<h4>I 福祉サービスの基本方針と組織</h4> <p>「互いに愛し合い支え合う豊かな協調性を育むというキリスト教精神に基づき、保護者や地域社会との連携を図りながら乳幼児期の健やかな成長を促す」という保育理念のもと、方針・目標はしっかりと明示され、施設長によるリーダーシップは法人に連動させた「中・長期計画」に現れ、施設長の保育サービスに対する限りない質への向上と業務の効率化に向けて改善しようとする意欲・熱意は、現場の若い職員達にとって大きな励みと希望になる事でしょう。今後とも保護者支援に力を尽くし法人内施設と共に地域社会の中核拠点として邁進するよう願っております。</p>
<h4>II 組織の運営管理</h4> <p>平成22年度「NPO法人キッズエクスプレス実行委員会主催の『食育コンテスト』」いただきました「ごちそうさま」において優秀賞を受賞。それをきっかけに1才・2才児の食育計画が見直され栽培から収穫、調理を体験し、食や食材に興味を持ち、食べることが大好きな子どもを目指す」という「中・長期計画」の4項目の1項目に上がっていることは大変にすばらしいことであり、高い評価といえるでしょう。そのほか「安全管理の特徴」では、災害時に備えメールでの連絡網や伝言ダイヤルでの対策が試みられている事、「地域との交流」では、法人施設との連携から子育ての専門的技術提供が図られており、今後の地域貢献も楽しみな分野となっています。</p>
<h4>III 適切な福祉サービスの実施</h4> <p>保護者の意見・意向を取入れながらも「まだ十分でない・まだ十分でない」の意識のもと、子どもの立場から改善に努力する姿勢が見られました。調査から利用する子ども・保護者を温かく包み込む取組が感じられます。その一つに「園だより」のタイトルの下に「暗唱聖句」が入っております。「暗唱聖句」は、福音書の言葉を取入れ、おおよそ2か月に一度入れ替えが行われております。子どものしあわせを祈る園の姿勢が感じとれる工夫です。保護者に対しては、「暗唱聖句」の意味を「キリスト教保育」として説明を加え、穏やかな気持ちを持って、子育てする大切さを伝えております。また、食育の取組にも熱心で、給食参観日を交通安全教室などの行事に併設開催し、年間食育目標を都度説明し、保護者の理解に努めるとともに、食事のレシピを加え、仕事で忙しい保護者が料理から遠ざかる傾向のある中で、食事を囲む家族の大切さを見直す取組が行われております。</p>
<h4>A 保育所保育の基本、子どもの生活と発達、保護者に対する支援</h4> <p>「共に育つ」というキリスト教精神を理念に掲げ、昨年増改築された新園舎で子ども達は実に伸びのびと生活していました。保育課程に基づき各指導計画・週日案・個別指導計画などが整備され、各年齢の育ちにあった保育が展開されています。1人ひとりを大切に保育の取り組みを行いつつも「改善が必要」「まだ充分でない」という園全体の自己評価を大切に、保育の質の向上を目指しています。保育には目に見えない部分もあることから、職員一人ひとりが自己評価を繰り返し課題を見つけ、検証しあうことで共通理解が生まれ更なる質の向上へと繋がっていくはずで、0才児、1,2才児と年齢別による保育園での子育て経験をいかながら地域の子育て支援にも貢献出来ており、又、食育コンテストでも優秀賞に輝くなど様々な挑戦があります。今後ともグリーンローズ保育園らしい保育サービスの提供を期待しております。</p>
<h4>※ その他 特記事項</h4> <p>保護者アンケート回収率は73.5%。項目別の特徴は「緊急時の適切な対応」「園外保育を通じた子どもの社会体験」「保護者から見た保育園内での子どもの心地よさ」はどの保護者からも支持されており100%です。「献立表からの毎日の食事内容」「食べ残し状態」「保護者との個別面談」「依頼された子どもへの投薬」は高得点で「担当者との保護者の日常的な情報交換」「健康診断等結果が伝えられている」「プライバシー保護」も高い支持を得ています。このことから、子供中心に考えられており保護者の情報を通して子どもを大事にするよりよい保育サービスに努めていることがわかります。</p>

## ◆ 細目の評価結果（基本評価53項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①理念が明文化されている。	a	「互いに愛しあい支え合う豊かな協調性を育む・保護者や地域社会との連携を図り乳幼児の健やかな成長を促す」保育課程・園内掲示など明文化されています。	引き続き行うよう努めたいと思います。
②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	「全ての子どもを受け入れる・五感を使い遊びや食事を通して生きる力を身につける・子どもを取り巻く地域社会や家族との連携を大切に子育て支援」です。	引き続き行うよう努めたいと思います。
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
①理念や基本方針が職員に周知されている。	b	配布はしているものの、理念や方針について全職員への十分な周知とは言えないので、今後の取り組みに期待します。	全職員が周知できるよう努めたいと思います。
②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	「園だより」を通し利用者には配布されていますが、今後の地域住民・関係機関への取り組みを求めます。	利用者への周知を引き続き行うとともに、地域住民・関係機関に対しても取り組んでいきたいと思っています。
2 事業計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期計画が策定されている。	b	「食育計画の見直し・遊びの工夫・職員研修・三年後の第三者評価受審目標」の4項目が策定されていますが、到達年度などより具体的段階の計画を求めます。	中・長期計画がよりよいものとなるよう、見直し・改善していききたいと思います。
②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b	「食育計画」「職員研修」「第三者評価受審」など事業計画との連動性が見られますが、項目を設けて明確に記載を求めます。	中・長期計画と合わせ、事業計画の見直し・改善を行っていききたいと思います。
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
①事業計画の策定が組織的に行われている。	b	事業計画の策定で職員が参画している計画もありますが、組織的に計画に関われるよう評価見直しの配慮を求めます。	職員が参画して組織的に事業計画を策定し、評価見直しを行うよう努めたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②事業計画が職員に周知されている。	b	事業計画の配布・周知を図ろうとしていますが、明確な事業内容把握が不十分で今後徹底周知を求めます。	全職員が周知できるよう努めたいと思います。
③事業計画が利用者等に周知されている。	b	入園時配布していますが、年度ごとには配布されていないので年度ごとに配布周知を望みます。	年度ごとにすべての利用者に配布するよう努めたいと思います。
<b>3 管理者の責任とリーダーシップ</b>			
<b>(1) 管理者の責任が明確にされている。</b>			
①管理者自らの役割と責任が職員に対して表明されている。	a	諸研修で得た情報や有事の際の取り組みなど職員会議や打ち合わせで積極的に取組んでいます。	引き続き取り組んでいきたいと思います。
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組が行われている。	a	施設長として必要な法令などその都度職員に伝え、理解されるよう取り組んでいます。	引き続き行うよう努めたいと思います。
<b>(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</b>			
①質の向上に意欲を持ちその取組に指導力が発揮されている。	a	「中・長期計画」の一つに「職員研修」で自己評価ガイドライン研究を取り上げ、質の向上に取り組んでいます。	引き続き取り組んでいきたいと思います。
②経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力が発揮されている。	a	「いかに子どもを育てるか」という観点から従来の児童票の中身を改善したり、子どもの成長ポイントを中心に児童票を改善しています。	引き続き行っていきたいと思います。
<b>II 組織の運営管理</b>			
<b>1 経営状況の把握</b>			
<b>(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</b>			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a	各年度の月別入園児童数推移や入園予定数経過比較データ、復命書などから中長期計画や年度事業計画に反映されています。	引き続き行っていきたいと思います。
②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組が行われている。	a	○歳児月別指導計画記録で月齢の大きい子と小さい子の部屋を分けているが、具体的なアンケート分析の課題を即座に解決する取組みをしています。	引き続き取り組んでいきたいと思います。
③外部監査が実施されている。	a	平成22年9月22日、公認会計士による自主監査事業、法人保育園改築の際に実施、21年2月社会福祉施設経営者セミナーで法人事務局長発表しています。	引き続き行っていきたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
<b>2 人材の確保・養成</b>			
<b>(1) 人事管理の体制が整備されている。</b>			
①必要な人材に関する具体的なプランが確率されている。	a	22名に対して26名と職員数は十分でその体制も十分に検討されています。今後とも円滑に行われているかどうか、機能的にも期待します。	引き続き行っていききたいと思います。
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c	年度末に個人面接は行われているものの、定期的な人事考課とはいえません。果たして人事考課が妥当かどうかを検討願います。	定期的に、客観的な基準に基づいた適切な人事考課を行うよう努めたいと思います。
<b>(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b>			
①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a	個別的に施設長途面談をしたり、必要に応じて職員意向を把握したりして改善を図っています。仕組みが構築されています。	引き続き行っていききたいと思います。
②職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a	福利厚生センターに加入、福利協会加入・食事会などの実施、健康診断・予防接種の健康維持がなされています。	引き続き取り組んでいききたいと思います。
<b>(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b>			
①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a	「専門性を高め保育の質を高める」職員一人一人が自己評価とその方法を習得、園内外研修機会を作る、と事業計画書に明示され取り組まれています。	引き続き取り組んでいききたいと思います。
②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a	ガイドラインによる自己評価ではないが園独自の自己評価がなされ、一人一人個別の研修においても組織としての具体的な取組が行われています。	引き続き取り組んでいききたいと思います。
③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しが行われている。	b	しかし、時間の確保が難しいようで定期的に研修計画の評価・見直しが次の研修計画に反映されているとはいえない現状です。定期的見直しを期待します。	定期的に見直しをしながら、次の研修計画に反映できるよう努めたいと思います。
<b>(4) 実習生の受入れが適切に行われている。</b>			
①実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組が行われている。	a	受け入れマニュアルに沿って担当者も決められ明記されています。各発達年齢段階の姿を体験してもらえるように配属し、積極的な取組が行われています。	引き続き取り組んでいききたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
<b>3 安全管理</b>			
<b>(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。</b>			
①緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	マニュアルが整備されており、安全確保の体制が整備されて施設長のリーダーシップが発揮され機能している。	引き続き行っていききたいと思います。
②災害時に対する利用者の安全確保のための取組が行われている。	a	防災訓練は月1回実施、災害時に備えメールの連絡網や伝言ダイヤルなどの対策を講じており、この9月に地震想定の実施を行っています。継続を望みます。	引き続き行っていききたいと思います。
③利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策が実行されている。	a	当園の「ヒヤリハット報告書・ケガ及び発病の記録（通院時軽微な事故）」のリスクをもとに施設長を介して検討され職員会議で対策が実行されています。	引き続き行っていききたいと思います。
<b>4 地域との交流と連携</b>			
<b>(1) 地域との関係が適切に確保されている。</b>			
①利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a	地域の商店への買い物体験、法人内複合施設共通の「わくわくday（地域公開・年4回）」など交流を広げるための働きかけを行っています。	引き続き行っていききたいと思います。
②保育所が有する機能が地域に還元されている。	a	地域子育て支援として0才・1・2才児親子対象に相談活動を実施、21年度43組・22年度64組の実施と増加しています。今後を楽しみにしています。	引き続き行っていききたいと思います。
③ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制が確立されている。	b	マニュアルは作成されており、その都度受け入れ体制をしていますが、受入れの担当者が明記されていません。	受け入れ担当者を明確にし、ボランティア受け入れの体制を確立していききたいと思います。
<b>(2) 関係機関との連携が確保されている。</b>			
①必要な社会資源が明確にされている。	b	必要な社会資源は職員個々には持っているものの、その情報が職員間で共有されていません。リスト化など共有化出来る資料作成を求めます。	社会資源の情報をリスト化し、共有できるように資料作成を求めます。
②関係機関等との連携が適切に行われている。	a	「西部地域子育て会議ネットワーク会」など定期的連絡協議会に参加、共有すべき課題の連携が行われています。施設PRにより正しく理解されてきています。	引き続き行っていききたいと思います。
<b>(3) 地域の福祉向上のための取組が行われている。</b>			
①地域の福祉ニーズが把握されている。	b	園サイド提供の子育てニーズは把握していますが、地域全体からの子育てニーズ把握までには取り組んでいません。地域を主体としたニーズ発見を期待します。	地域からのニーズを把握できるよう努めたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a	法人施設合同の「わくわくday」「一時預かり事業」においてより専門的な園独自の子育て相談を行っています。	引き続き行っていききたいと思います。
<b>Ⅲ 適切な福祉サービスの実施</b>			
<b>1 利用者本位の福祉サービス</b>			
<b>(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b>			
①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	b	利用者を尊重したサービス提供姿勢は、保育理念・方針・目標・施設管理規程第11条(平等の原理)で確認できました。共通の理解を持つための取組は、基本的人権等に係る研修会参加者の研修レポートを園内会議等で「読み合わせ」を行い、研修内容の共有を図るとともに人権や尊重について理解を深めております。保護者アンケート「すべての職員が子どもの人権を尊重して大切に接してくれる 88.9%」からも取組が裏づけされています。	よりよいサービスの提供ができるよう、いっそう取り組んでいききたいと思います。
②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備されている。	b	子ども・保護者のプライバシー保護の姿勢は、平成22年4月園だより「お願い」「個人のプライバシーには十分配慮いたします・・・」等の配布物で確認できました。提示されたマニュアルは、個人情報「開示」に関する内容であり、プライバシー保護に関するマニュアルは確認できませんでした。サービス場面ごとに作成されている手順書あるいは標準的な実施方法などにプライバシーに関する配慮等を盛り込みむなど工夫が必要と考えます。	プライバシー保護に関するマニュアルの整備に取り組んでいきしたいと思います。
<b>(2) 利用者満足の上昇に努めている。</b>			
①利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組が行われている。	b	保護者の意向調査は、確認できませんでしたが、参観日や個別面談の機会を活用し利用者満足につなげる取組が行われておりました。それは、保護者アンケート「保護者の希望や考え・苦情が、保育内容にいかされていると思う 86.1%」に表れております。	利用者にこれまで以上に満足していただけるよう、いっそう取り組んでいききたいと思います。
<b>(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</b>			
①利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備されている。	b	相談や意見についての受け入れ姿勢は、「入園のしおり」等で確認できました。相談環境としては、相談室が設置されておりましたが、多数出入りする玄関に設置している「投書箱」は、「意見を述べやすい」環境と言えるのだろうか検討が必要と考えられます。	『投書箱』の名称や設置場所を変え、利用者が意見を述べやすい環境を整えていききたいと思います。
②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能されている。	b	「福祉サービスに係る苦情相談実施要綱」が整備され、苦情解決の体制は廊下にも掲示されておりました。「意見・要望・苦情」は、同じように対応しているとの説明でしたが、「意見・要望」に対する対応と「苦情」に対する対応は、対応方や配慮方に違いがあると考えます。	「意見・要望」と「苦情」に対する対応を見直し、適切に対応できるよう努めていききたいと思います。
③利用者からの意見等に対して迅速に対応が行われている。	b	マニュアルは整備しているとして提示されたマニュアルは、「福祉サービスに係る苦情相談実施要綱」でした。意見に対する対応は、苦情に対する対応と分けて評価しており、利用者からの意見等に迅速に対応する手順について整備が必要と考えます。	マニュアルを見直し、整備するとともに、利用者からの意見に対応できるような手順を整備していききたいと思います。
<b>2 サービスの質の確保</b>			
<b>(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。</b>			
①サービス内容について定期的に評価を行う体制が整備されている。	a	グリーンローズ保育園重要事項説明書に「職員による保育内容等の自己評価を毎年実施」を明示し、独自の自己評価(直近では、平成22年7月)が行われておりました。今後は、自己評価ガイドライン等を参考にした定期的な自己評価の継続を期待します。	自己評価ガイドライン等を参考にし、これからも定期的に評価を行っていききたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施されている。	c	独自の自己評価は実施しておりますが、集計作業が滞っており課題が明確になっておりませんでした。実施した自己評価全ての項目を集計する方法でなくとも、自己評価項目で「気になる項目だけ」でも集計を行い、課題を明確に把握し、改善実施計画を立てる取組が必要と考えます。	実施している自己評価結果を集計し、課題を明確にして改善していくよう取り組んでいきたいと思ひます。
(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立されている。			
①提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	標準的な実施方法については、おむつ交換など一部が文書化され、他についても文書化の作業を進めていると聴取しました。文書化は、職員が共通の認識を持って保育にあたり、安全性も考慮した実施につながるものとなりますので、暫時文書化を進めて頂く事を期待します。	職員が共通理解できるよう、文書化を進めていきたいと思ひます。
②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	b	新しい園舎となり、母乳やミルクを提供する哺乳瓶の洗浄方法等の見直しが行われたと聴取しました。今後は、見直しに当たり経過記録や会議等での周知方など書面確認できる取組を期待します。	職員が共通理解できるよう見直しの記録を残し、周知できるように努めたいと思ひます。
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	組織として統一した様式により、一人ひとりの記録が整備されておりました。個々の保育目標は、保育課程を受けて作成されておりました。	引き続き行っていきたいと思ひます。
②利用者に関する記録の管理体制が確立されている。	b	記録の管理のマニュアルは、「個人情報開示マニュアル・個人情報開示規定」に基づき実施しているとの事でした。記録の管理は、「開示」と「保護」からなっており、提示されたマニュアル等では「保護」について記載が見あたりませんでした。「保管・保存・廃棄」などに関する内容の追加が必要と考えます。	マニュアルの中で「保護」について明記するとともに、「保管・保存・廃棄」に関する内容を追加するよう、見直し・改善してきたいと思ひます。
③利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化されている。	b	「ケース記録」が個別に作成され、「利用者の状況」「サービス実施に当たり留意すべき事項」が記録されておりました。「実施に伴う状況の変化」や「サービス実施計画の実施状況」の項目についての記録も網羅される事を期待します。	サービスを提供したことによる状況の変化や、実施計画の状況などをケース会議で検討し記録に残すようにしたいと思ひます。
3 サービスの開始・継続			
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供されている。	a	ホームページで、保育理念や保育内容について写真や図・絵を用いて、分かりやすく、見やすく、丁寧な言葉で説明を加え情報の提供に努力されておりました。	引き続き行っていきたいと思ひます。
②サービスの開始に当たり利用者等に説明し同意を得ている。	a	「グリーンローズ保育園重要事項」の説明及び「入園のしおり」の説明、保護者が園に提出する書類により、利用に当たり同意を得ている状況が確認できます。	引き続き行っていきたいと思ひます。
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
①事業所の変更や家庭への移行などに当たりサービスの継続性に配慮した対応が行われている。	b	姉妹園との伝達に使用している「幼稚園申し送り」で確認しました。グリーンローズ保育園は、「未満児」の受け入れであり、場合によっては「ことばの教室」に通う子どもさんも居ることから、現在使用している様式を基に、卒園後の相談窓口情報も含めたサービス継続につながる「引継書」の工夫を望みます。	卒園後の相談窓口を整備し、引継所の見直し・改善を行い、よりよいサービスが継続できるよう努めていきたいと思ひます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
4 サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
①定められた手順に従ってアセスメントが行われている。	a	子どもの身体状況や生活状況等 組織で定めた様式(児童票)に手順に沿って記録されておりました。「家庭支援の記録」および「家族との関わり」も同児童票第3表に記録されておりました。	引き続き行っていきたいと思います。
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
①サービス実施計画を適切に策定している。	a	成育歴・心身の発達状況・活動実態に即し、保育課程に基づいたサービス実施計画が作成されておりました。	引き続き行っていきたいと思います。
②定期的にサービス実施計画の評価・見直しが行われている。	a	子どもの変化に応じて実践計画の見直しを行っている説明がありました。保護者アンケート「子どもの保育目標やねらいが記された保育計画をみたことがある 63.9%」から実践計画の見直しにあたり、保護者に一言「説明」する機会を設けることにより、より高い次元での保育提供につながっていくものと考えます。	実践計画の見直しを行うにあたり、保護者へ説明する機会を設けるよう努めていきたいと思います。



## ◆ 細目の評価結果（内容評価24項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 保育所保育の基本			
(1) 養護と教育の一体的展開			
①保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a	保育課程が保育の方針や目標に基づき編成されております。民生委員や市民センターにも頻りに訪問し地域の実態把握に努めています。評価は職員会議で行われておりました。	引き続き行っていききたいと思います。
②乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	個別指導計画、年間指導計画で乳児保育のための適切な環境が整備されていることを確認しました。呼吸や健康状態を定期的に確認するなどSIDS対策も行われております。	引き続き行っていききたいと思います。
③1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a	個別指導計画、保育日誌、週日案で確認しております。基本的な生活習慣が身につくように又自我の育ちを支えられるように保育内容や方法で配慮されています。	引き続き行っていききたいと思います。
④3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c		
⑤小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮されている。	a・b・c		
(2) 環境を通して行う保育			
①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a	増改築後間もないことから、生活の場は心地よく過ごせるように整備されております。人的環境については各指導計画で確認しています。	引き続き行っていききたいと思います。
②子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a	年間指導計画や月の指導計画で確認しております。計画の中に「一人ひとりの気持ちを受け止め」とか「一人ひとりの生活習慣を見直し」などの記述があり一人ひとりの子どもに合わせた援助が行われておりました。	引き続き行っていききたいと思います。
③子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a	事業報告で異年齢交流をされていることを確認しました。2歳児週案の中に、玩具を増やすことにより主体的に遊べるようになりごっこ遊びに発展していったと報告されております。当番活動も指導計画の中に位置づけられています。	引き続き行っていききたいと思います。
④子どもが主体的に身近な自然や社会と関われるような人的・物的環境が整備されている。	a	戸外遊びや散歩を多く取り入れ、自然物に触れる機会も多く設けられていることを指導計画で確認しました。市民センター体育館での遊びも実施されております。	引き続き行っていききたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑤子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a	言語、表現活動が体験できるように、指導計画の中に配慮や工夫が記載されていることを確認しました。訪問調査で園内に子どもたちの作品が掲示されていることも確認しました。	引き続き行っていききたいと思います。
<b>(3) 職員の資質向上</b>			
①保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b	自己評価には取り組まれておりますが、改善にまではいたっておりませんでした。今後、定期的に自己評価を行い保育の改善に繋げてくださるよう希望します。	自己評価を定期的に行い、改善につなげるよう努めたいと思います。
<b>2 子どもの生活と発達</b>			
<b>(1) 生活と発達の連続性</b>			
①子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a	年間指導計画、個別指導計画で確認をしました。保護者アンケートの中にも一人ひとりに気を配っているとの評価がありました。	引き続き行っていききたいと思います。
②障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	障害児保育は特別保育事業として位置づけられ取り組まれております。園内研修でも「気になる子どもへの対応」として取り組まれていることを確認しました。	引き続き行っていききたいと思います。
③長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	長時間保育専属の職員がおり、引継ぎがスムーズに行われております。今後、夕食・軽食についても検討されることを望みます。	延長保育の補食の在り方について、検討・改善していききたいと思います。
<b>(2) 子どもの福祉を増進することに最も相応しい生活の場</b>			
①子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a	児童票育ちの記録で、既往症・予防接種など把握されていることを確認しました。体調のすぐれない子どもへの対応も連絡帳で対応できておりました。保険計画が作成されております。	引き続き行っていききたいと思います。
②食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	食育計画が詳細に作成され計画に基づいて実践されております。食育コンテストで優秀賞をいただくなど努力しています。今後、戸外で食事するなど食事スタイルを工夫してみてください。	一人ひとりの子どもがたのしく食事ができるようにより工夫していききたいと思います。
③乳幼児に相応しい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a	検食簿が記載されており献立・調理の工夫に反映されています。行事食や手作りおやつ提供も実施されておりました。栄養士や調理担当者が食事の様子を見たり話を聞くことも行われておりました。	引き続き行っていききたいと思います。
④健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a	健康診断や歯科検診の結果が記録され、職員会議で周知されています。保護者には母子手帳にて伝えられておりました。保健計画や保健便りを発行するなど保育に十分反映されています。	引き続き行っていききたいと思います。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
<b>(3) 健康及び安全の実施体制</b>			
①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	主治医からの指示書をもとに、子どもの状況に応じて適切に対応しております。食事の提供の際には他の子どもとの相違にも配慮しております。	引き続き行っていきたいと思います。
②調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a	自治体が作成したもの、又はそれに準じたものをマニュアルとして利用してもよいことになっていますが、現在利用しているマニュアルは一回の食数が300以上の時のものなので園の規模に合ったものを作成されるよう望みます。	園の現状に即したマニュアルを整備したいと思います。
<b>3 保護者に対する支援</b>			
<b>(1) 家庭との緊密な連携</b>			
①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	食育計画が各年齢ごと詳細に作成されておりました。献立表・レシピの配布、食材の産地の掲示も実施されております。給食参観時、試食の機会も設けられておりました。	引き続き行っていきたいと思います。
②家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a	日常的な情報交換が連絡帳を通して行われておりました。個別面談も積極的に実施されております。	引き続き行っていきたいと思います。
③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a	懇談会や保護者の保育参加、おしゃべりタイムなどを積極的に開催し子どもの発達過程や子育ての方法について共通理解できる機会が設けられております。	引き続き行っていきたいと思います。
④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a	虐待についてのマニュアルが整備されており、連絡体制が周知されております。早期発見のためにも利用しやすいチェックリストを作成されるよう望みます。	チェックリストの作成に取り組みたいと思います。